

落成式に思う

校長 竹内 明子

新たなスタートとなる、記念すべき落成式が 10 月 23 日に執り行われました。

ここにたどり着くまで、保護者・地域の皆様、杉並区各課の皆様、工事関係の皆様、公園の一部を提供していただいた東京都など、多くの方々のご協力をいただきました。

建設工事は約二年間に渡りましたが、さらに遡りますと、平成 25 年度から 26 年度にかけて、本校や富士見丘中学校の関係者・地域の方々との「教育環境懇談会」が開催され、その結果、公園に隣接した清々しい環境のこの地に本校を移転し、隣の中学校と一体的に整備することとなったのです。落成までの長きにわたる一連の取組にあたり、関係された皆様方に、心より感謝申し上げます。

落成式には関係者の皆様の多くのご参列があり、その中で、本校の高学年児童が「よびかけ」を織り込んだ合奏（6 年生）・合唱（5・6 年生）を披露いたしました。

曲目は、落成に合わせて本年度改訂した新・学校教育目標「しあわせを創る富士見丘小学校」にふさわしい歌詞のものを選び（合奏は「カイト」、合唱は「Believe」）、私も指導にあたった音楽の特別授業を通して、子どもたちが「しあわせ創り」について考えられるよう 1 学期より取り組んできたものです。

落成式当日の高学年児童の心のこもった発表の素晴らしさは、今もどのように表現して良いのかわからないほどです。

ふじみがおか

杉並区立富士見丘小学校

Fujimigaoka
Elementary school

校長 竹内 明子



令和5年11月号

令和 5 年 10 月 31 日 発行



子どもたちが自分たちの手で、富士見丘小学校のしあわせを創っていくんだという優しい気持ちや輝く希望が、その表情や姿、音楽的な表現などから、参列された皆様方全員の心に伝わったようでした。一生懸命に練習を重ねてきた子どもたち、このような表現が出来る子どもたちを、本校の誇りに思います。

この新しい校舎で、子どもたちはもちろん本校に関係する多くの人たちと共に、「しあわせを創る富士見丘小学校」という実践を重ねていくことを、あらためて心に誓った落成式となりました。



11月の生活目標

友だちとなかよく生活しよう

生活指導委員会

先月、16日から27日にかけて長縄旬間として学校全体での取組が行われました。どのクラスも休み時間になると校庭に出て、声を掛け合いながら長縄跳びにチャレンジしている様子が見られました。大縄の回転リズムを見ながら、声をかけ合って跳び続ける様子からは、子どもたちなりに仲間と呼吸を合わせる楽しさ、飛び続ける喜びを共有し合っていることが感じられました。

さて、今月の目標は、「友だちとなかよく生活しよう」です。人はそれぞれ個性があり、自分なりの生活リズムがありますが、学校にいる間は、学校の時間の流れに合わせて、皆それぞれ調節しながら生活しています。みんなが同じ時間を気持ちよく生活するには、それぞれの個性を尊重し、関わっていくことが大切です。友達の様子から、されてうれしいこと、嫌なことなどは付き合いが深まるにつれて、また、成長するにつれてわかってきます。失敗を含めて経験を重ねながら、友達との適切な付き合い方、距離の取り方を学び、互いの個性を理解、尊重しながら、友情を深めていってほしいです。